

+++++
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第40号 2018年3月12日発行
+++++

待ちに待った春です。冬野菜を収穫して、春野菜の種子を播き始めました。ディル（イギリス）、ルッコラ（スペイン）、レタスはホット・サンドイッチに入れて、冬中楽しみました。九条ネギの苗は良好に育っていますから、3月中旬には定植します。

ジャガイモの種薯は芽が動いています。ハヤトウリは冷蔵庫で休眠・越冬させました。これからしばらくは春耕です。縄文人の畑は陽当たりが良く、冬でも心地よく温かいです。

昨年3月に仕込んだ味噌は上手くできました。これから来年度用に、借金なし大豆で味噌を仕込みます。

日本村塾ゼミで、自然のなかでの暮らしや生業について皆様と一緒にもっと学び、山村民の楽しみ、ここで暮らす人びとの誇りについて話し合いたいです。都市民はもっと自然に親しまないと、人間でないもの、AIのしもべになってしまいます。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。

なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」年4号でお知らせしています。友の会会員になっていただければうれしいです。

顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけるとうれしいです。

○報告

1. 植物と人々の博物館

購入書架に書籍を並べ、テーブルとイスも用意し、よい空間になってきました。雑穀街道の展示は再開しました。

展示「多様な生業」を企画していますので、民具整理や展示準備、データ整理などご協力ください。狩猟・漁撈は黒澤ら担当、

採集・農耕（海外調査の道具など含む）は木俣が担当します。また、自然文化誌研究会らしさを出したいので、冒険探検関係の資料・用具などがありましたら、展示にお貸しください。

2. 雑穀街道普及会

第40回環境学習セミナーとして「雑穀街道とFAO世界農業遺産」を、下記の日程で行います。ご参加いただけるとうれしいです。

相模原市長、上野原市長、小菅村長、丹波山村長に賛同依頼と関連資料を重ねて送りました。今のところ問い合わせはありません。今回の申請締め切りは6月です。

FAO世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。賛同が広がるようどうぞご援助くださいますようお願いいたします。

FAO世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いします。下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。

世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」（小菅村井狩）で閲覧していただけます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』第4章で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millet/sn/jnmpmilvil.html>

3. 森とむらの図書室 御寄贈、ありがとうございました。

平宏和 2017、雑穀のポートレート、錦房（著者平宏和さんより）。

若林高子・北原なつ子共編 2017、水の土木遺産—水とともに生きた歴史を今に伝える、鹿島出版会（著者若林高子さんより）。

菅豊・福澤昭司・湯川洋司編 2008、日本の民俗 2 山と川；和田健・市川秀之・湯川洋司編 2008、日本の民俗 6 村の暮らし；

安室知・古家信平・湯川洋司編 2009、日本の民俗 13 民俗と民俗学；吉川弘文館。湯川洋司 1997、山の民俗誌、吉川弘文館

（ご子息の湯川洋史さんより 4 冊ほか報告書など）。

阿良田麻里子編 2017、文化を食べる文化を飲む—グローバル化する世界の食とビジネス、ドメス出版（著者大澤由実さんより）。

○予定

1. **開館作業予定日**：2018年3月12日（月）、16日（金）、23日（金）、30日（金）、4月6日（金）の予定です。

植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示を再開しています。作業にご協力いただきたく、よろしく申し上げます。ご協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、日程調整します。

例年通り、5月4日の源流祭りには、公開解説をします。 kibi20kijin@yahoo.co.jp

2. 「**憲法に環境原則を追加する提案**」についての研究会を認定 NPO 法人環境文明 21（憲法部会）で行っています。次回は 2018 年 3 月 20 日（火）18-20pm、大崎です。5 月に予定するシンポジウム内容について話し合います。

ご興味があれば詳細をお知らせします。現在の提案書（憲法前文と第三章環境を加筆）は次のホームページで読めます。

<http://www.kanbun.org/2017/170824teigen/170824teigen.html>

3. 雑穀街道と FAO 世界農業遺産 （第 40 回環境学習セミナー）

日時：2018 年 4 月 9 日（月） 場所：山梨県上野原市 展示室 3

参加者： 関心ある方々どなたでも 参加費などは無料

主催：NPO 自然文化誌研究会／雑穀街道普及会 共催：農業法人藤野倶楽部、NPO さいはら、ほか

目的：雑穀街道における家族農業、自給農耕、市民農園、ファーマーズマーケットの楽しみなどを話題に、雑穀街道協議会創立準備、FAO 世界農業遺産に認定申請について話し合えたらよいと思います。

プログラム

12：00～13：00 受け付け、雑穀街道普及会 地域活動の展示紹介

13：00～14：00 1. 雑穀街道の提案趣旨 木俣美樹男（農山漁村文化協会理事、東京学芸大学名誉教授）

14：00～15：00 2. 各地域からの報告

1) 小菅村・丹波山村から 黒澤友彦（NPO 自然文化誌研究会事務局長、雑穀栽培講習会）、岡部良雄（雑穀栽培農家）

2) 上野原市西原から 富澤太郎（上野原市農業委員、やまはた農園）、中川智（雑穀栽培農家）

3) 相模原市緑区藤野から 宮本透（宮本茶園、雑穀栽培農家）

15：00～15：10 休憩

15：10～16：00 3. 総合討論とまとめ

藤村達人（相模原市農業委員、筑波大学名誉教授）

4. **日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミ**は、希望者があれば読書会開催します。都市農業や家族農業の図書文献は森とむらの図書室（小菅および藤野分室）で閲覧できます。講演や研究報告はホームページで読めます。

5. **民族植物学第 11 号**は編集中です。第 12 号の原稿締め切りは 2018 年 7 月とします。関東地方の雑穀栽培、アニミズム信仰論など準備しますが、ご寄稿を歓迎します。

バックナンバーは第 7 号～第 10 号まで少しあり、希望者に差し上げます。第 1 号から第 10 号まで、すべての記事はホームページで読めます。

6. **藤野での雑穀栽培講習会**は駅前の畑を藤野倶楽部のご厚意でお借りして、継続します。

7. **講演会：7 月 22 日（日）午後 1 時～3 時**、話題：こんな食物もアフリカからやってきた。JICA 地球広場市ヶ谷。

8. **環境教育学会エクスカッション**（予定）8 月末。小菅村、内容未定。学大小菅実習：9 月予定。

9. 『**雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から**』は民族・信仰について学びながら、パキスタンおよびインド各州について、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。第 9 章ネパール・ブータンの雑穀を公開します。同じく、『**日本雑穀のむら**』は第 4 章関東山地中部地域の雑穀栽培について公開しました。『**環境学習原論**』および『**第四紀植物**』、“**Essence of Ethobotany**” はまだ目次構成程度ですが、書き進めています。これらは、下記の個人ホームページで読めます。

引用して下さる場合は、順次必要に応じて改訂していきますので、「木俣（2018 未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

***** 自然文化誌研

究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミュージアム研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行： 木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

個人 HP:生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

木俣美樹男 Mikio KIMATA kibi20kijin@yahoo.co.jp

植物と人々の博物館／日本村塾 研究員塾生

Nihonmura College for Environmental Studies, Plants and People Museum

公式 HP： <http://www.ppmusee.org>

個人 HP: <http://www.milletimplic.net>